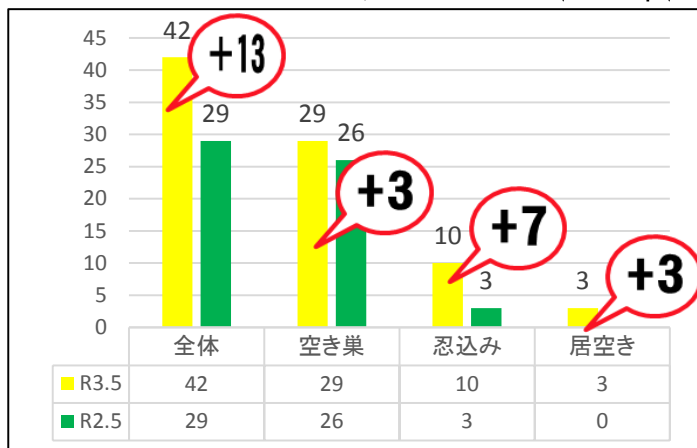




お家の鍵かけは万全ですか？

本年5月末現在、大分県の刑法犯認知件数は、1,207件となっており、昨年と同水準で推移しています。しかしながら、個人の住宅を対象とした空き巣や忍び込みなどの被害が多く発生しており、注意が必要です。

◎住宅侵入窃盗の発生状況 (R3.5末)

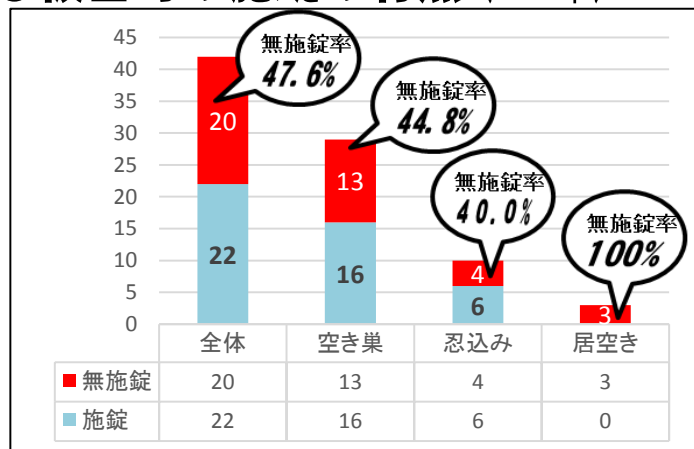


本年5月末、住宅侵入窃盗は42件発生しており、昨年の同時期よりも13件増加しています。

被害のうち、不在時に侵入される空き巣被害は3件増加、居空き(日中在宅中に侵入される被害)は3件増加、忍込み(夜間就寝中に侵入される被害)は7件増加しています。



◎被害時の施錠の有無 (R3.5末)



被害のうち、約半数が鍵をかけていない玄関、勝手口、窓などから侵入されており、居空きの被害に関しては、3件中全ての被害が鍵をかけずに被害に遭っています。居空きや忍込みは、犯人とばったり遭遇する可能性も高く、場合によっては、強盗事件に発展するなど、非常に危険です。

住宅侵入窃盗の42件のうち約半分が鍵をかけずに被害に！



被害に遭わないための対策

日頃から鍵をかける習慣を身につけましょう。

現在、コロナ禍にあり、換気のために窓やドアを開放する機会が多くなっていると思われませんが、昼寝をしたり、夜間就寝する際等は確実に施錠してください。

これから夏に向け暑くなりますが、適宜エアコンを利用するなど、解放する場所を少なくするのも対策の1つです。

泥棒は家の中に侵入する際、まず鍵がかかっていない窓等を探します。なぜなら、鍵がかかっていない場所からの侵入は容易で、他の人や家人から発見されるリスクも少なく、短時間で盗み出すことができるからです。

被害防止のため、まず確実な鍵かけを徹底し、犯人に「この家は入りにくい」「防犯意識がしっかりしている」と思わせることが重要です。

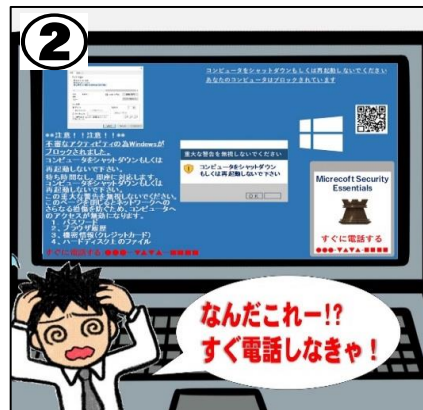


サポート詐欺に引き続き注意が必要です！

サポート詐欺の被害が止まりませんっ！！



サポート詐欺の手口



詐欺です！

電話をすると...

ウイルス対策を行うと偽って、**遠隔操作ソフトをインストールする様**に電話で指示される

遠隔操作を行い、ウイルス対策を行ったと偽ってサポート費用やインストールしたソフトの代金を請求される

R3.5までの被害の支払いは全てコンビニで**電子マネー**



◎こうした詐欺のきっかけは、一般的にアダルトサイトを閲覧中のイメージを持たれている方も多いかもかもしれませんが、現在、一般的なサイトを閲覧中にも被害が確認されているため、インターネットを利用中は誰でも注意が必要です。

◎電話をしてしまうと、オペレーターが出て、ウイルス対策のためなどと言い、アプリをダウンロードさせたり、その対策費用などと称して、お金を請求してきます。

◎犯人が指示するお金の支払い方法は、コンビニで電子マネーを購入させて、その番号を教える方法です。電話で聞いてくる場合もあれば、パソコンの画面に番号を入力させる場合もあります。

こうした警告音や警告画面表示は、みなさんを騙すための「偽」警告です。
画面表示などは、電源を切れば消えます。まずは慌てず、落ち着き、
「無視をする」「電源を切る」ことが大切です。



「電子マネーで支払い」は詐欺！支払う前に、家族や警察に相談を！

偽の警告画面に関する情報

- ・IPA(独立行政法人情報処理推進機構)のホームページ「情報セキュリティ安心相談窓口だより」に掲載
 - ・JC3(日本サイバー犯罪対策センター)のホームページ「2020年7月2日作成：注意喚起情報」に掲載
- ※同サイトでは「サポート詐欺」の名称で動画で事例説明